**取得経緯の自己申告書**

**下の記述欄に、１～３の内容を記述してください。**

**１．象牙を所持している者の氏名（法人にあってはその名称）、象牙の数量**

（例：「〇〇太郎が所有する象牙１本について」）

**２．いつ、誰がどのように取得したのか。**

**（具体的に記入。何年前といった表現は不可）**

（例：「〇年頃に私が海外の〇〇で購入し、〇年〇月頃に国内へ持ち込み」

「〇年頃に、父である○〇△男が購入。父が〇年に亡くなり私が相続で取得」）

**３．その他の状況**

（申請物を取得したときの関係書類（領収書や通関書類など）があるかないか。取得に至る経緯。取得した時の詳細など。）

**＜記述欄＞**

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

**・本書類の記述内容は事実であること。**

**・「象牙」は「本物」であること。**

**・取得する登録票は鑑定書ではないことを承知していること。**

**以上の3点について相違ないことを誓約します。**

（一財）自然環境研究センター　　理事長　殿

　　　　**年　　　月　　　日**

**住　所**

**氏　名**

※申請者が法人である場合 には、「住所」を「主たる事務所の所在地」と、「氏名」を「名称及び代表者の氏名」と読み替えて記載してください。

※虚偽の内容での申請など、偽りその他不正の手段により登録を受けた場合、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律第57条の２に基づき、登録を受けた者が５年以下の懲役又は500万円以下の罰金、若しくはこれらの併科を科せられることがあります。また、法人の場合は、同法第65条に基づき、1億円以下の罰金を科せられることがあります。